

再使用禁止

パワーバー

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・ニッケル等の成分に対し発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には、使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本品は、次の原材料で構成する。
・ステンレス鋼

(構造等)



【使用目的又は効果】

歯又は他の器材に付けて矯正力を付与するために用いること。

【使用方法等】*

- (1) 犬歯又は小臼歯から大臼歯の間の距離を計測し、適切なサイズのパワーバーを選ぶ。
- (2) ソケット部のフェイシャルラインを大臼歯裂溝部のラインに合わせる。
- (3) ボンディングベースに汚れが付着していないことを確認し、光重合接着材を用いて、犬歯又は小臼歯と大臼歯の2か所で歯面に接着する。
- (4) (上顎前突＝ClassII 咬合を治療する場合)
本体の上顎犬歯又は小臼歯部のフックと、下顎大臼歯に装着したバックルチューブ等のフックの間にエラスティックを掛ける。
(下顎前突＝ClassIII 咬合を治療する場合)
本体の下顎犬歯又は小臼歯部のフックと、上顎大臼歯に装着したバックルチューブ等のフックの間にエラスティックを掛ける。
- (5) 本体に装着するエラスティックはその都度交換するよう患者に伝える。

【使用上の注意】*

- 1)使用注意
(1)破折の恐れがあるため、アームを曲げないこと。
(2)脱落・変形が起こった場合は、使用せず新しいものに交換すること。
(3)ディボンディングの際は、撤去専用のプライヤーを使用し、慎重に行うこと。
(4)本体及び装着するエラスティックは清潔に保つよう指導すること。
(5)患者に定期的に来院するように伝えること。
- 2)重要な基本的注意
(1)本品の使用により発疹等の過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
(2)口腔内での脱落は、粘膜の損傷・誤飲・誤嚥につながる可能性があるため、施術の際は細心の注意を払って行うこと。また、診療後にも脱落があり得ることを患者に説明しておくこと。誤飲・誤嚥が起きたときは、ただちに適切な病院にかかるよう伝えておくこと。
(3)本品については、試験によるMR安全性評価を実施していない。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売 : 株式会社バイオデント
電話番号 : 03-5604-0980
FAX番号 : 03-3801-7560
輸入先国名 : アメリカ合衆国
製造業者 : American Orthodontics
アメリカンオーソドンティックス

取扱説明書を必ずご参照ください。



パワーバーはクラスⅡの症例を早期に効率的に治療する装置です。
パワーバーのフックにクラスⅡエラストックを掛けることで大臼歯を遠心にローテーションさせ、
前歯部のスペースを確保します。
(本品はクラスⅢにも使用できます。→ 裏面03をご覧ください)

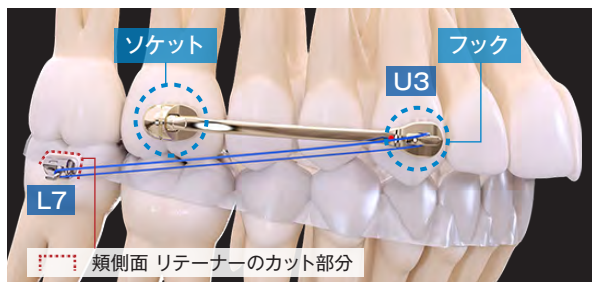
パワーバーをセットする前に(クラスⅡ)

パワーバーは **U3** (又は **U4**) にセットされた **フック** から **L7** (又は **L6**) を牽引するため、反作用による下顎前歯の前方傾斜がおこることがあります。
これを予防するため、下顎歯列を強固な固定源にする必要があります。

固定源としてはリンガルアーチ、アンカースクリュー等の選択肢がありますが、ソフトリテーナーのご使用を推奨いたします。

ソフトリテーナー(厚み1mm/.040インチ)で下顎全体を固定源とし、

L7 (又は **L6**) 頬側面のリテーナーを一部カットして、
カットした箇所へ **バックルチューブ**、**ボタン** 等をセットしてください。



Point パワーバーを使用する際は
下顎にソフトリテーナー(1mm/.040インチ)を装着する。

ソフトリテーナー
推奨品

atmos(スプリント/リテーナー用)

●A909-030658 円形(125mm、厚み:1.0mm)30枚 ●A909-030667 円形(125mm、厚み:1.0mm)100枚

販売名: ATMOS シート 一般 届出番号 13B2X00091000110

使用手順

01 パワーバーのサイズの選択(クラスⅡ/Ⅲ共通)

パワーバーセクションガイドを使用して **U6** の裂溝～ **U3** の近心1/3までの距離を計測し、患者さんに適したパワーバーのサイズを選択します。

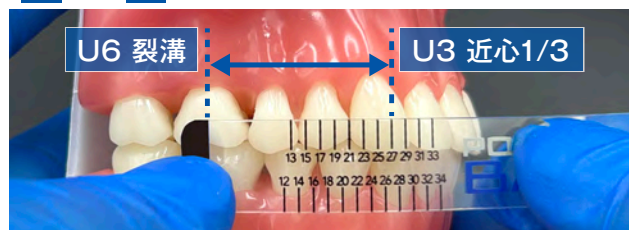
[パワーバーセクションガイド]



※ **U3** に装着する場合、日本人の患者さんでは **25**、**26**、**27** が多く使用されています。

※ **U3** が完全萌出していない場合やうまくボンディングできない場合は、
上記の計測方法を用いて **U4** の近心1/3にボンディングすることができます。

[**U6** 裂溝～ **U3** 近心1/3の計測]



※セクションガイドは順次 新デザインに移行予定です。

Point

計測結果が2つのサイズの間にある場合(例:24mmと25mmの間)、下記を目安にして装置を選択してください。

■より大きいローテーションが必要な場合 >> 小さいサイズ

■わずかなローテーションが必要な場合 >> 大きいサイズ

パワーバーセクションガイド 原寸サイズ
本商品のサイズ感をご確認ください。

02 バッカルチューブ/パワーバーの装着 (クラスⅡ)

① 下顎バッカルチューブ

パワーバーを装着する前に、**L7** (又は **L6**) へ **バッカルチューブ** 又は **ボタン** 等を装着します。

② ソケット

パワーバーは **U6** から装着します。

ソケット の **フェイシャルライン** が **U6** の **裂溝部** に整列するように装着します。

③ フック

次に **U3** (又は **U4**) へ装着します。

フック付きパッド は、**U3** (又は **U4**) の **近心1/3** に **フック基底部** を合わせて装着します。(正中ではありません)



Point

パワーバーは接着剤を問いませんので、
ご使用の際は接着剤の取扱説明書をご覧ください。

03 バッカルチューブ/パワーバーの装着 (クラスⅢ)

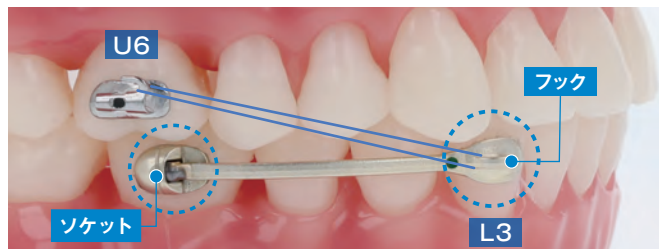
パワーバーはクラスⅢでも使用することができます。サイズの選択はクラスⅡと同様の方法で計測できます。(表面01参照)

→ **L6** の裂溝～**L3** (又は **L4**) の近心1/3を計測してサイズを選んで下さい。

1 エラスティックをパワーバーの下顎犬歯/小白歯フックと

上顎大臼歯に装着したチューブ等のフックに掛けます。

2 上顎にソフトリテーナー(1mm/.040インチ)を装着します。



※臼歯の不要なローテーションを防ぐため、パワーバーのソケット部のロックを推奨しています。
フロアブルレジンをソケット内に充填し、光重合します。▶



04 エラスティックの装着 (クラスⅡ/Ⅲ共通)

【部位】

クラスⅡ **U3** (又は **U4**) に装着した **フック** と **L7** (又は **L6**) の **バッカルチューブ** にエラスティックを掛けます。

クラスⅢ **L3** (又は **L4**) に装着した **フック** と **U7** (又は **U6**) の **バッカルチューブ** にエラスティックを掛けます。

【エラスティック(サイズ)】

A 標準的な場合: U3 / L3 (上下顎3番) に装着

最初の1か月は1/4インチを使用し、2か月目以降は3/16インチに変更します。

エラスティックの
サイズの選択

1/4 インチ (6mm) ▶▶ **3/16** インチ (5mm)
[1か月目] [2か月目以降]

B 上下顎4番の場合: パワーバーをU4 / L4に装着

パワーバーをU4・L4に装着する場合、3/16インチを治療終了まで使用し続けます。

エラスティックのサイズの選択

3/16 インチ (5mm)
[治療終了まで]

C 混合歯列の場合

治療の期間中、1/4インチを使用します。

エラスティックのサイズの選択

1/4 インチ (6mm)
[治療終了まで]

製造販売



美しい歯ならびをクリエイトする

株式会社 バイオデント

東京都荒川区西日暮里2-33-19 YDM日暮里ビル

TEL 0120-49-0980

TEL 03-5604-0980/FAX 03-3801-7560

URL <http://www.biodent.co.jp/> E-mail info@biodent.co.jp

AO AMERICAN ORTHODONTICS

3524 Washington Avenue Sheboygan, Wisconsin, 53081-1048 USA
Email: info@americanortho.com web: www.americanortho.com